

鶴見・南立石・東山
ひとまもり・まちまもり協議会
地域ビジョン

令和7年3月



目次

【第1部】 鶴見・南立石・東山地区について	1
1 あいさつ	1
2 ひとまもり・まちまもり協議会とは.....	2
3 鶴見・南立石・東山地区の概要.....	3
4 鶴見・南立石・東山地区の人口.....	4
5 協議会の体制	5
6 今までの活動	5
【第2部】 地域ビジョン策定について	6
1 地域ビジョンについて	6
2 地域の現状について.....	6
3 鶴見・南立石・東山ひとまもり・まちまもり協議会の今後の活動目標	8
4 鶴見・南立石・東山ひとまもり・まちまもり協議会の地域ビジョン.....	10
【第3部】 課題解決ワークショップの開催について	11
1 課題解決ワークショップの開催.....	11
2 【第1回】 地域の課題について考える.....	12
3 【第2回】 地域で求められていることを考える	14
4 【第3回】 地域で実施するアイデアを考える	16
5 地域ビジョン策定ワークショップ参加者名簿	19

【第1部】 鶴見・南立石・東山地区について

鶴見・南立石・東山ひとまもり・まちまもり協議会が
地域の明るい未来の実現にむけて活動していくために
「地域ビジョン」を策定しました。

1 あいさつ

私たちの鶴見・南立石・東山地区は、別府市の南西部に位置し、南立石公園や阿蘇くじゅう国立公園を有し、四季折々の風景を楽しむことができます。また、温泉・歴史など地域資源が豊富な特色のある地区です。

本協議会は令和3年4月に発足し、住みよい明るいまちになるよう18の自治会と33の構成団体が連携し、自治機能の維持、地域コミュニティの活性化、地域の歴史・伝統・文化の継承に取り組んでまいりました。

このたび、「鶴見・南立石・東山ひとまもり・まちまもり協議会地域ビジョン」が完成いたしました。これは、地域の皆さまと共に地域の未来を考え意見を交わしながら作成したものであり、本協議会の指針となる一冊です。

本冊子では、これからの地域の在り方や取り組むべき課題について皆さまと共有し、よりよい未来を築くための指針を示しました。この地域ビジョンを通じて、地域の魅力や課題を共有し、より良いまちづくりへ向けた一歩をともに踏み出していただければと思います。今後は、多くの方に関心を寄せていただきご参加をいただけますと幸いです。

最後に、ご協力いただいたすべての皆さまに心より感謝申し上げます。

鶴見・南立石・東山ひとまもり・まちまもり協議会
会長代行 金澤 晋

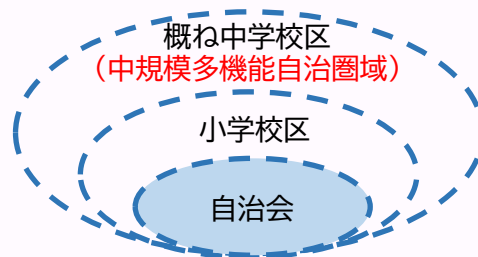
2 ひとまもり・まちまもり協議会とは

～地域がつながるまちづくり 市内7つの新たなコミュニティ～

【持続可能な地域コミュニティに向けて】

別府市では将来に向けて、従来の小学校区の自治の範囲を概ね中学校区の圏域に広げて自治運営の基盤を拡大することにより、様々な機能をもつ中規模多機能自治を推進しています。

現在、7つの圏域の地域運営組織として、多様な主体が連携する「ひとまもり・まちまもり協議会」が新たな地域コミュニティを形成し、地域の特性をいかながら課題解決に取り組んでいます。



別府市 HP より

【ひとまもり・まちまもり協議会とは】

ひとまもり・まちまもり協議会は、多様な人や団体が連携して、住民が力を合わせて主体的に地域づくりを行う新たな地域コミュニティです。地域住民が中心となって、地域の特性をいかながら連帯感を高め、将来を見据えた地域づくりを行っています。

自治会を含めた多様な主体や幅広い人材が連携・協力することにより、様々な課題に対して、ネットワークをいかした自主的・効果的な取組が期待できます。

別府市 HP より

■ ひとまもり・まちまもり協議会一覧

概ね中学校区の圏域で7つのひとまもり・まちまもり協議会が活動しています。



山の手



中部



南部



朝日大平山



北部



鶴見・南立石・東山

鶴見台

鶴見台

別府市 HP より

3 鶴見・南立石・東山地区の概要

鶴見・南立石・東山地区は、別府市の南西部に位置し、地区の中心に境川が流れ、眺めのよい傾斜地に閑静な住宅街が広がり、山間部では稲作や椎茸栽培等の農業が盛んな地域です。南立石公園や阿蘇くじゅう国立公園を有し、四季折々の風景を楽しむことができます。

海拔 150m の高台には観光リゾートとしても発展してきた観海寺温泉、交通の要衝で別府の西の玄関口に位置する堀田温泉があり、どちらも古くからの温泉地として地域住民や多くの観光客に親しまれています。また、石垣原古戦場跡等の歴史的資源もあり、自然・温泉・歴史など地域資源の豊富な地区です。

地区の人口は約 19,000 人、世帯数は約 10,100 世帯、高齢化率は約 34.3%であり、7圏域(協議会)で、人口は最も多く、高齢化率は3番目に低くなっています。(※人口・世帯数・高齢化率は令和6年7月末現在の数値)

〔別府市内図〕

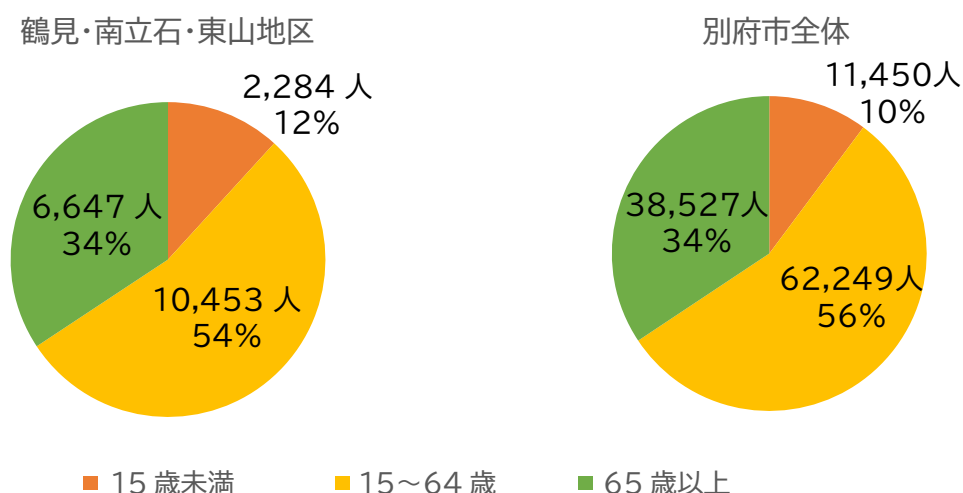


【鶴見・南立石・東山ひとまもり・まちまもり協議会の基本情報】

設立	令和3年4月1日
構成団体	自治会(鶴見・南立石・東山18自治会)、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、青少年育成協議会、小学校、中学校、PTA、老人会、地区公民館、自主防災会、消防団、防災士会、体育協会、(株)東山パレット、東山太鼓保存会、地域包括支援センター
該当地区	鶴見、荘園、扇山、南立石1区・2区、南立石生目町、南立石板地町、南立石本町、観海寺、堀田、南荘園町、鶴見園町、南立石八幡町、東山1区・2区、枝郷、山の口、城島

4 鶴見・南立石・東山地区の人口

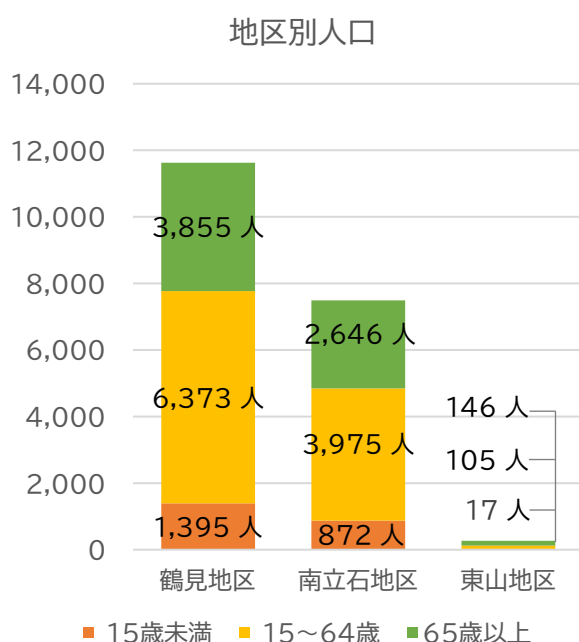
■ 鶴見・南立石・東山地区と別府市全体の人口構成(令和6年7月末現在)



鶴見・南立石・東山地区の人口構成は、15歳未満の年少人口割合が約12%と別府市全体(約10%)よりもやや高くなっています。一方で15～64歳にあたる生産年齢人口の割合は約54%と別府市全体と比べてやや低くなっています。65歳以上の高齢人口割合はほぼ同水準となっています。

全体傾向は別府市全体と大きく変わらないものの、子どもが若干多い点が特徴と言えます。

■ 地区の人口(令和6年7月末現在)

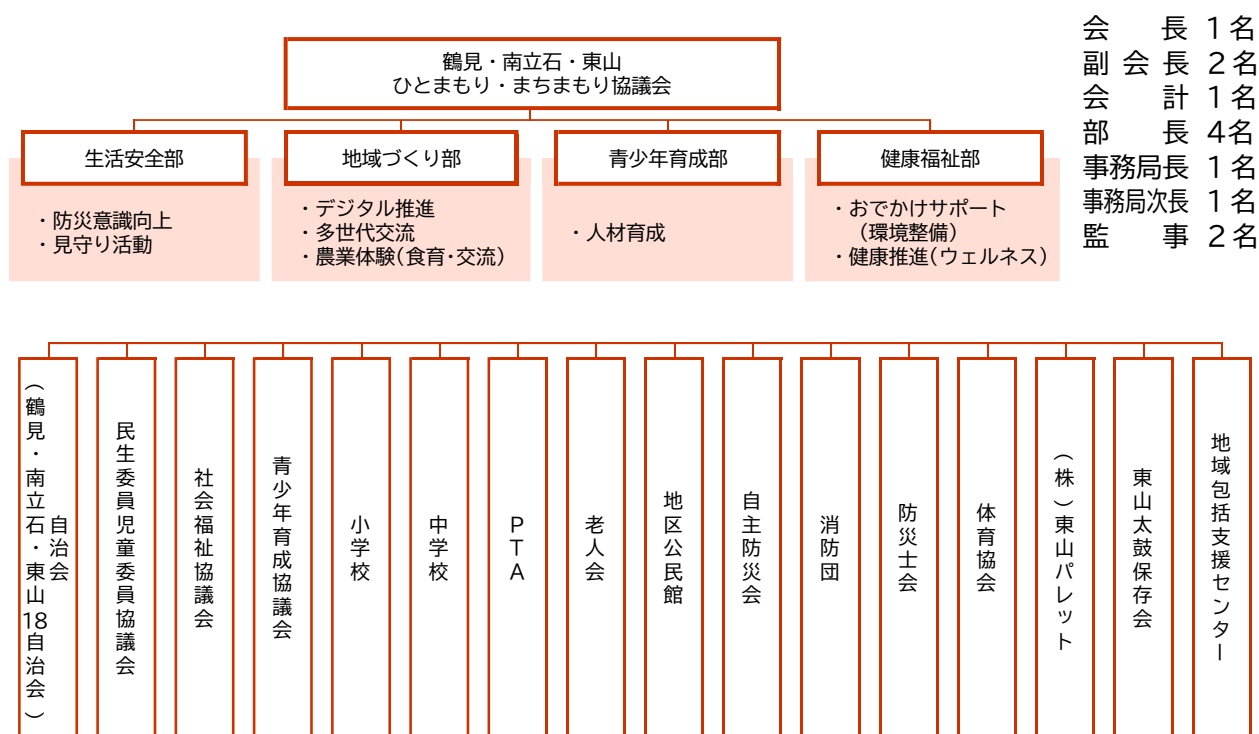


地区別の人口では、鶴見地区の人口が約12,000人と3地区の中では最も多く、次に南立石地区が約7,000人となっています。東山地区の人口は300人弱と他の2地区に比べてかなり少ない地区です。

鶴見地区と南立石地区の人口構成比はほぼ同じですが、南立石地区では65歳以上の割合が若干高く、15歳～64歳の割合が低くなっています。東山地区は人口そのものが小規模ですが、65歳以上が半数以上を占める地区となっています。

5 協議会の体制

【組織図】



会長 1名
 副会長 2名
 会計 1名
 部長 4名
 事務局長 1名
 事務局次長 1名
 監事 2名

6 今までの活動

【生活安全部】

地域の安心・安全のための取組を実施しています。

- ・防災士や地域住民を対象とした防災講座(防災食体験・避難所運営ゲーム等)



【地域づくり部】

地域のつながりを深め、魅力ある地域づくりの取組を行っています。

- ・芋ほり・椎茸狩り体験(地域の小学1年生を対象)
- ・スマホ教室



【青少年育成部】

後継者育成のため人材育成事業を行っています。

- ・先進地視察研修

【健康福祉部】

高齢者にやさしい地域づくりの活動を実施しています。

- ・認知症勉強会(VRを活用した疑似体験・認知症予防講座)
- ・休憩所の設置



【第2部】 地域ビジョン策定について

1 地域ビジョンについて

地域ビジョンとは、ひとまもり・まちまもり協議会がこれからの地域をより良いものにしていくためにはどのように活動すればよいかを示す指針です。将来を見据えたまちづくり活動を行うための体制づくりのきっかけとなるものであり、住民と自治体等が対等なパートナーとして、ともに理想の地域を築くための道しるべです。

2 地域の現状について

地域ビジョン策定にあたり、住民の声を反映するためにワークショップを実施し、鶴見・南立石・東山ひとまもり・まちまもり協議会の現状と課題、目指すべき姿について整理しました。

① 多世代交流が実現できる組織にする

本協議会では、地域の特色をいかした農業体験や高齢者にやさしい地域を目指した活動を実施していますが、「若い世代にもっと企画や運営に参加してほしい」という意見もあり、協議会の役割や活動内容をより多くの世代に伝えていく必要があります。

さらに、「子どもが遊ぶ場所が少ない」「若い世代をあまり見かけない」といった声も聞かれます。若い世代が運営にかかわることで、地域内の交流がより活発になり、住民が参加したくなるような環境づくりにつながると考えています。そのため、幅広い世代の意見を取り入れながら、誰もが安心して顔を合わせ、交流できる仕組みを整えていきます。

② 安心して暮らせる、暮らしやすい地域にする

本協議会では、安心して暮らせる地域を実現するためにさまざまな取組を実施しています。防災士との連携や住民向けの防災講座などは、将来的に発生する可能性が高いとされている南海トラフ地震等に備え、住民同士で助け合える地域づくりを目指す取組の一環です。

また、スマホ教室や認知症勉強会などを通じて、高齢化社会の中でも安心して暮らせる環境づくりに取り組んでいます。一方で、この地域は広いエリアに加え、坂道が多いという地形的な特徴があり、移動手段や買い物の不便さが課題となっています。

今後は、誰もが安心して暮らせる環境を整えるとともに、住む人にやさしい地域を目指した取組を進めていきます。

③ 地域の魅力をいかした取組を実施する

少子高齢化やコロナ禍の影響により住民が集まる機会が減少してきた中で、地域の特性をいかしながら、さまざまな取組を企画・開催してきました。

市内で最も広い面積を有する本協議会は、阿蘇くじゅう国立公園や南立石公園など豊かな自然や公園に恵まれ、古くからの温泉地も点在しており、非常に魅力のある地域です。

今後は、豊富な地域資源の活用を図るとともに、地域内の観光施設や福祉施設などとの連携も視野に入れ、地域住民にとってはもちろん、訪れる観光客にとっても魅力的な地域づくりを目指します。

3 鶴見・南立石・東山ひとまもり・まちまもり協議会の今後の活動目標

地域の現状や課題の確認から整理したキーワードより、鶴見・南立石・東山ひとまもり・まちまもり協議会が活動するうえで活動目標と活動方針を整理しました。

● 活動目標①

世代間で活発に交流ができる地域づくり

求められていること

- ・ 幅広い世代で交流できる場をつくる
- ・ 地域活動の負担感を軽減し、参加しやすくする
- ・ 子どもが安心して遊べる地域にする
- ・ 保護者同士がコミュニケーションを取れる地域にする
- ・ 高齢者が元気になる地域にする

活動方針

世代を超えた地域住民同士が、顔の見える関係を築けるよう支援します。幅広い世代の意見を取り入れ、課題や目的を整理し、その解決に向けて一体となって取り組んでいきます。

● 活動目標②

ずっと暮らせる、ずっと暮らしたいまち

求められていること

- ・ 災害に備えた取組を継続する
- ・ 観光施設との共生を考える
- ・ 交通マナーを教える環境を整える
- ・ お年寄りの買い物手段や交通の問題を解決する
- ・ 地域、行政、企業、各種施設で連携する

活動方針

より暮らしやすく、ずっと住み続けたい地域となるために、自治会単位では解決が難しい課題や、行政や企業などの協力が必要な問題に対しても積極的に取り組む組織となります。

● 活動目標③

だれもが気軽に参加できる取組

求められていること

- ・ 参加しやすくなるようにイベントを工夫する
- ・ 徒歩圏内で参加できるような仕組みをつくる
- ・ 学校と連携し、学校行事を活用する

活動方針

イベントや行事を実施する際には、目的・目標を明確にし、開催後の効果を見据えた取組を行います。魅力的な取組を増やすことで、住民の協議会への参加意欲を高めます。

4 鶴見・南立石・東山ひとまもり・まちまもり協議会の地域ビジョン

設定した活動目標や活動指針から、鶴見・南立石・東山ひとまもり・まちまもり協議会としての今後のまちづくりの指針となる「地域ビジョン」を策定しました。

■ 地域ビジョン

顔が見える交流を広げ、
自分たちで「住みたいまち」をつくる

鶴見・南立石・東山 ひとまもり・まちまもり協議会の 目指す地域づくり

本協議会は、地域の豊かな自然をいかした個性豊かなまちづくりを目指し、さまざまな取組を通じてまちづくりを進めてきました。広いエリアをもつ協議会ですが、各地区のつながりを強め、子どもから高齢者までいきいきと暮らしやすい地域となるよう活動しています。

しかし、幅広い世代が地域とかかわりながら充実した生活を送ることができる地域づくりや、高齢者の移動や買い物に困らないための対策など、解決すべき課題もあります。

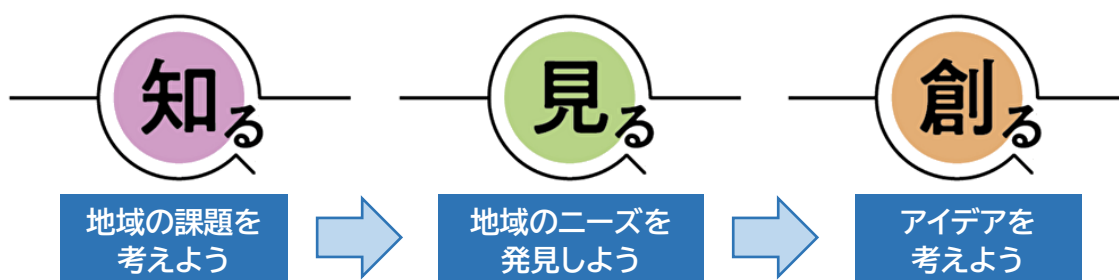
今後は、さらに活動を充実させるべく、協議会だけでなく、行政や企業と連携しながら組織づくりを進めていきます。そのためには、若い世代が活動の中心となり、積極的に参加することが不可欠です。活動に参加しやすく、新しいアイデアが生まれやすい協議会にしていきます。

「この地域にずっと住みたい」「自分たちで良いまちにしたい」、そんな思いを持つ人々が集まり、全員でまちづくりに取り組める協議会にしていきます。

【第3部】 課題解決ワークショップの開催について

1 課題解決ワークショップの開催

地域ビジョン策定にあたり、住民の声を反映するために、「持続可能なまちづくり」をテーマとし、デザイン思考※を用いた「課題解決ワークショップ」を全3回にわたり実施しました。



【第1回】 地域の課題について考える

活発な意見交換の中で、地域に潜在する課題を洗い出し、重要度の高い課題について考えました。

【第2回】 地域で求められていることを考える

第1回で洗い出された課題をもとに、地域の中に潜在する「ニーズ」を探すとともに、それを解決する糸口となる「問い」を設定しました。

【第3回】 地域で実施するアイデアを考える

第2回で設定された「問い」を解決するための具体的なアイデアを考え、「絵(図)」という形でイメージを具体化しました。

ビジョンの検討、とりまとめ

ひとまもり・まちまもり協議会 地域ビジョン策定

※デザイン思考とは

問題を解決するための思考法の一つです。課題を洗い出した後に、重要な問題を特定することで真に解決が求められている本質的な問題はなにかを考えます。この問題に対し、どう解決していくかアイデアを出し合い、実行プランへと具体化します。意見を出し合い、重要なものに絞り込んでいく過程を繰り返すことで、普段可視化されていなかった潜在的な課題や対応が必要な事項を探り出すことができます。

2【第1回】地域の課題について考える

活発な意見交換の中で鶴見・南立石・東山地区に潜在する課題を洗い出し、重要度の高い課題が何なのかを考えました。参加メンバーから挙げられた課題を紹介します。

(令和6年9月25日実施)

キーワード	少子高齢化
実際の意見	・ 若い人の働く場所が少なく、地域から出ていく ・ 高齢化によって古い家や空き家が増えている ・ 子どもが自由に遊べる場所が少ない
キーワード	交通問題、買い物
実際の意見	・ 近くで買い物ができる場所がなく、移動手段も限られるため高齢者の買い物が大変 ・ 坂道が多い、道が狭い、車通りが多い ・ ごみ収集車や救急車が通れない ・ 路線バスが使いにくく、タクシーの確保も課題
キーワード	行事、イベント
実際の意見	・ コロナ禍以降、行事がないことが当たり前になってきている ・ 一過性の効果しかないイベントになっている ・ 地域交流が少なく、コミュニケーションが難しい
キーワード	自治会・協議会活動
実際の意見	・ 次の役員がいらない、若い人はいるが、中心にならない ・ 行政との連携が必要 ・ 自治会はサポートとしてかかわってほしい

キーワード	観光
実際の意見	・ 巨大観光施設とどう共生していくか ・ 観光客に嫌な思いをさせたくない ・ 観光客の増加による交通課題
キーワード	その他
実際の意見	・ 地域と企業との連携がない ・ 由布川峡谷などの環境整備に対応できる人材が不足している ・ 農業振興地域が残っていて宅地化がしづらい、耕作放棄地の課題

課題からの気づき

- ・ 地域の特徴を生かしたイベント、他団体とのつながりや若い人材との横のつながりが不足
- ・ 地域の企業との連携不足
- ・ 移動手段が限られており、高齢者が気軽に買い物ができる場所も少なく、地域の実状に合わせた助け合いが必要



3【第2回】地域で求められていることを考える

第1回で洗い出された課題をもとに、地域の中で「求められていること」を探すとともに、それを解決する糸口となる「問い」を設定しました。4つのグループでどのような「問い」にたどり着いたかを紹介します。

(令和6年10月16日実施)

■ 設定された「問い」①

課題解決のための問い

「どうすれば地域住民と企業が Win-Win の関係で地域づくりができるだろうか？」

求められて
いること

- ・ 施設や企業と地域の双方にメリットがある取組
- ・ 施設や企業との交流の場
- ・ 自治会の活性化、住民参加行事のあり方の見直し

■ 設定された「問い」②

課題解決のための問い

**「どうすれば地域の人同士が顔の見える関係、見守り助け合いの関係を
つくっていけるか？」**

求められて
いること

- ・ 地域内で、若い人同士や多世代間の交流の場
- ・ 地域の人たちが様々な活動に積極的に参加できる関係
- ・ 若い人と交流することで、助け合いや見守りの環境づくり
- ・ 子ども同士で家を行ったり来たりできるような関係

■ 設定された「問い」③

課題解決のための問い

「どうすれば住民が各々の課題を共有・認識し、かかわりあい生まれる協議会にできるだろうか？」

求められて
いること

- ・ 高齢者が元気になれる楽しい場所や活動
- ・ 真に困っていることを知りたい
- ・ 自治会の業務を協議会に集約していく
- ・ 組織に若い人を取り入れる

■ 設定された「問い」④

課題解決のための問い

「どうすれば子どもと協議会の交流を深めるために、子どもが喜ぶ(魅力的な)イベントができるだろうか？」

求められて
いること

- ・ 学校間での子どものつながり
- ・ 地域の人と子どもが交流できる場
- ・ 参加しやすいイベント

4【第3回】 地域で実施するアイデアを考える

【第2回】のワークショップにて、鶴見・南立石・東山地区の「本質的な問い」を4つ設定しました。

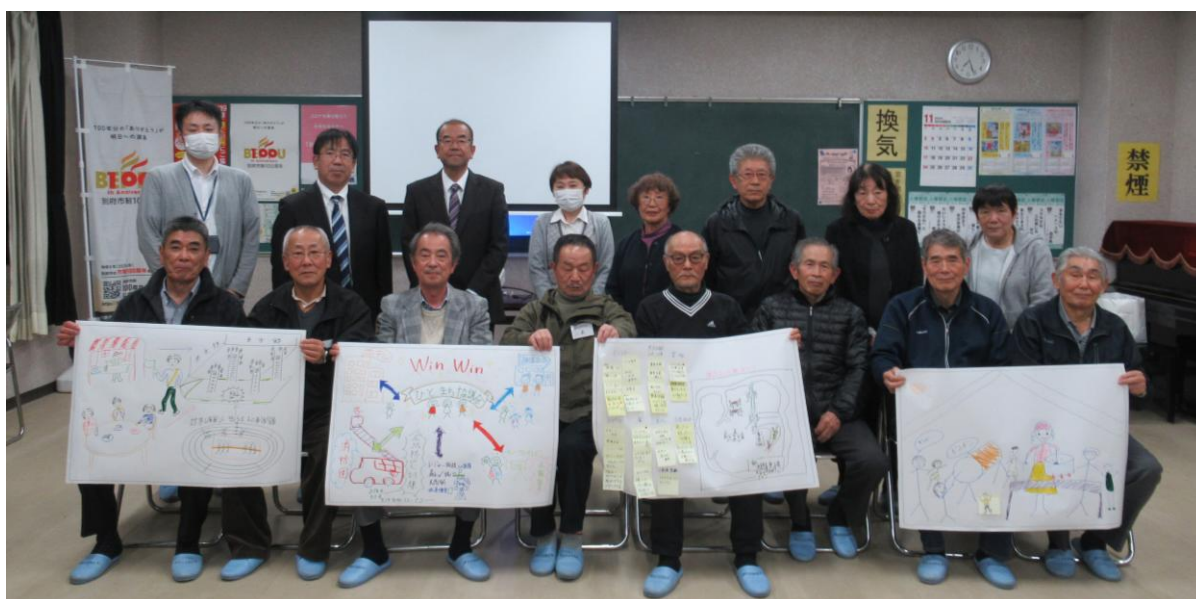
(令和6年11月26日実施)

課題解決のための問い

1. どうすれば地域住民と企業が Win-Win の関係で地域づくりができるだろうか？
2. どうすれば地域の人同士が顔の見える関係、見守り助け合いの関係をつくっていただけるか？
3. どうすれば住民が各々の課題を共有・認識し、かかわり合いが生まれる協議会にできるだろうか？
4. どうすれば子どもと協議会の交流を深めるために、子どもが喜ぶ(魅力的な)イベントができるだろうか？

この問いに対して、ワークショップの参加メンバーで4つのグループに分かれて、実際にどう行動していくかアイデアを出し合いました。

次のページから、内容について紹介します。



アイデア A

【課題解決のための問い】

～企業が入りやすい協議会づくり～
地域住民と企業の消防訓練

どうすれば地域住民と企業が Win-Win の関係で地域づくりができるだろうか？



【アイデアの視点】

地域住民と企業が Win-Win の関係づくりにおいて、企業に協議会のことをもっと知ってもらう必要がある。知ってもらうためのイベント、広報手段について考えた。

合同消防訓練

企業が入りやすい協議会にするために、一緒に消防訓練を行う。その後地域の消防団にも入ってもらい、これをきっかけに色んな活動を一緒に取り組んでいき、構成団体になっていく。

広報担当 CTB

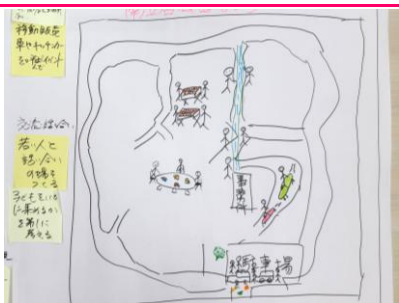
消防訓練をはじめ、広報担当としてCTBメディア(別府市に本社を置くケーブルテレビ局)にひとまもり・まちまもり協議会の活動を流してもらう。地元企業へアピールし、企業が入りやすい協議会にしていく。

アイデア B

【課題解決のための問い】

～大人から子どもまで楽しめる場づくり～
南立石公園まつり

どうすれば地域の人同士が顔の見える関係、
見守り助け合いの関係を作っていけるか？



【アイデアの視点】

どうすれば顔の見える関係づくりができるのか、子どもから大人までみんなが入り混じって楽しく交流する場ができないか考えた。

南立石公園まつり

南立石公園という素晴らしい場所をいかして、南立石公園まつりを開催。公園の坂を利用した流しそうめん体験、バーベキューなど、子どもから大人まで楽しめるイベントを開く。

子どもも大人も楽しめる場

地域の若い世代にも参加してもらうために、みんなが集まってお茶を飲むような場をつくり、子どもたちは、スケートボードなどのアーバンスポーツを楽しむ。他にも野菜などの移動販売車なども用意する。

アイデア C

【課題解決のための問い】

～協議会各部の自立と連携～
協議会全体での大運動会

どうすれば住民が各々の課題を共有・認識し、
かかわり合いが生まれる協議会にできるだろうか？



【アイデアの視点】

各部が自立したうえで、連携して協議会を支えていく。そのために各部にかかわる人を増やしていくためのアイデア。

協議会主催で人が集まる場をつくる

協議会主催で、運動会を実施する。その他にも、夏祭りや人が集まる場としてのサロンのような場所をつくる。夏祭りには各部が出店やステージを運営し、部での連携を強化していく。

協議会を支える各部の自立

協議会にかかわる人が増えることで各部がしっかりと自立し、協議会を支えているイメージ。最初はボランティアとして活動に参加してもらい、その後協議会に入ってもらおうよう促し、各部がより自立した活動につなげていく。

アイデア D

【課題解決のための問い】

～子どもが喜ぶ交流イベント～
相互教室

どうすれば子どもと協議会の交流を深めるために、
子どもが喜ぶ(魅力的な)イベントができるだろうか？



【アイデアの視点】

子どもが喜ぶ取組として、交流を生むイベントが良いと考えた。お互いが教えあう「相互教室」という形で交流するアイデア。

ゲームを通した相互教室

相互教室の案として、子どもが大人にゲームを教える場(太鼓の達人など)をつくる。相互教室を通して、大人と子どもの交流を生み、日頃馴染みのないゲームにも触れる。その他にも、子どもから大人へスマートフォンの使い方を教える教室なども開催する。

料理を通した相互教室

相互教室の案として、大人が子どもに料理を教える料理教室を行う。大人から子どもへ料理を教えるだけでなく、郷土料理などにも触れる機会となる。場所は公民館を開放する。

5 地域ビジョン策定ワークショップ参加者名簿

役 職	氏 名	所 属 等
会 長 代 行	金 澤 晋	南立石生目町自治会長
副 会 長	田 中 信 行	東山1区自治会長
地 域 づ く り 長 地 部	大 野 泰 徳	東山パレット社長
青 少 年 育 成 長 青 部	江 藤 定 信	扇山自治会長
健 康 福 祉 部 長 事 務 局 長	丸 谷 省 三	南立石2区自治会長
生 活 安 全 部	荒 金 成 明	南立石本町自治会長
地 域 づ く り 部	柏 本 良 晴	山の口自治会長
地 域 づ く り 部	平 野 俊 彦	南立石板地町自治会長
青 少 年 育 成 部	中 島 一 志	南立石1区自治会長
青 少 年 育 成 部	黒 木 寿 一	南立石小学校校長
健 康 福 祉 部	大 野 恭 一	東山2区自治会長
健 康 福 祉 部	姫 野 善 昭	南莊園町自治会長
健 康 福 祉 部	田 邊 久 教	鶴見小学校校長
健 康 福 祉 部	古 堅 理 恵	青山・東山地域包括支援センター管理者
健 康 福 祉 部	工 藤 智 之	青山・東山地域包括支援センター
	金 子 浩	扇山自治会総務部長
	小 山 善 子	扇山自治会4区長
	高 田 博 美	扇山自治会女性部長
	森 本 八 重 子	扇山自治会会計部長